

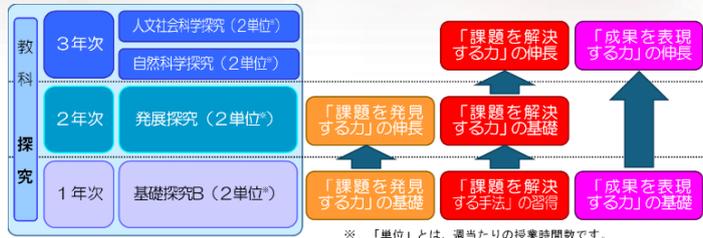


## 文理探究科の1年次生と探究科の2・3年次生を対象とした、ガイダンスを開催！

探究科

文理探究科の1年次生と探究科の2・3年次生を対象とした教科「探究」の授業が始まり、それぞれの授業でガイダンスを開催しました。

文理探究科の1年次生を対象とした「基礎探究B」のガイダンスでは、文理探究科の活動で「課題を発見する力」「課題を解決する力」「成果を表現する力」を身に付けることを目標とするとともに、この力を3年間で身に付けるために取り組む様々な活動が紹介されました。さらに、文理探究科に入学した生徒が初めて取り組む西高海峡ディスカバリー発表会に向けた準備の方法や、発表の方法について説明がありました。



探究科・文理探究科の生徒が、3年間で身に付ける力



ガイダンスで、これから始まる活動を確かめる探究科の2・3年次生

めることや、探究活動により身に付けてきた課題解決力を活用して取り組む活動について説明がありました。

それぞれの年次ごとに目標は違いますが、課題解決力をより一層向上させるため、積極的に活動してください。

探究科の2年次生を対象とした「発展探究」のガイダンスでは、課題研究に取り組む意義や1年間の日程、中間報告会や校内発表会までに準備しておく資料などについて説明がありました。さらに、これまで先輩が参加した発表会を振り返り、これらに参加し成果を残すためにはどのように研究を進めていけばよいのか考えました。探究科の3年次生を対象とした「人文社会科学探究」や「自然科学探究」のガイダンスでは、これまで取り組んできた課題研究の成果を学校外で開催される課題研究発表会やコンテストで披露するため準備を進め



早速探究活動に取り組む、文理探究科の1年次生

## 探究科2年次の3つの研究班が、SDGs QUEST みらい甲子園に出品しました。

探究科

株式会社TREEが企画・総合プロデュースする2024年度 SDGs QUEST みらい甲子園の山口県大会に、表に示した探究科2年次(現3年次)の「国語班」「公民1班」「家庭班」が出品しました。本大会は、持続可能な社会の担い手を育てるためにSDGsを起点とした社会課題の解決に向けた行動を促す機会を創発していくことを目的としています。山口県大会の運営は、KRY山口放送が担当され、山口県内の高校生がチームを組んで、Microsoft Power Pointのスライド6枚に活動の様子をまとめて出品しました。提出したスライドに示されたプランについて、革新性、実現度、共感度、普及拡散性、目標貢献度などをもとに一次書類審査が行われ、1月21日(火)に結果が発表されました。残念ながら、本校の研究班は、ファイナリストに選ばれませんでした。世界は気候変動、食料、エネルギー、資源、紛争、人権、不平等、ジェンダーなど複雑で解決が難しい多くの課題に直面しています。私たち自身が社会を変えるために、自ら考え行動し未来を創造するよう努めましょう。

2024年度 SDGs QUEST みらい甲子園山口県大会に参加した研究班等

研究班	研究テーマ
国語	中学古典から考える下関の未来with平家物語
公民1	葛が力づくで冷やしてみた
家庭	Vegetable DE Sustainable



2024年度 SDGs QUEST みらい甲子園に参加した生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。

# 文理探究科1年次生を対象とした、西高海峡ディスカバリーを開催！

探究科

これまで探究科を設置していた本校や宇部、萩高等学校、理数科を設置していた岩国、徳山、山口高等学校に、新たに文理探究科が設置されました。本校の文理探究科は、第1期生として70人の新入生を迎え、オリエンテーションである西高海峡ディスカバリーを4月14日(月)に開催しました。

当日、1年次生は、唐戸にある亀山八幡宮の儀式殿に直接集合しました。午前、下関市立考古博物館 館長 濱崎 真二 先生による講義で、テーマは「歴史や町の成り立ちを知って探究的な視点をもとう！」でした。下関市の歴史や日本遺産の一つである「関門 “ノスタルジック” 海峡」を紹介していただきながら、幕末の下関戦争や、開港後、沿岸部に建設された近代建築について説明していただきました。そして、「唐戸地区には多くの史跡が残っている。これを見て「好き」「おもしろい」と思ったことをきっかけにして「疑問」を見つけてほしい。」と述べられました。講義の後には、実際に唐戸地区の史跡をめぐる予定です。



濱崎先生から唐戸地区の近代建築について学ぶ



日清講話記念館を見学する生徒



あいにくの天候の中、傘をさして移動する生徒

下関観光ガイドの会のみなさんの案内により、安徳天皇陵、赤間神宮、旧英国領事館、旧秋田商会ビル、南部町郵便局などを見学しました。それぞれの史跡には特徴があり、とりわけ旧秋田商会ビルでは、外観が洋風であるにもかかわらず2階から上級の居住スペースには、和風の部屋が作られているなど、大変興味深い構造をしていることがわかりました。



旧秋田商会ビルの居住スペースを見学する生徒



旧英国領事館のレンガの積み方について学ぶ生徒

昼食をとったのち、午後、彦島にある下関三井化学株式会社(以下、「下関三井化学」という。)に会場を移しました。下関三井化学では、リン鉱石を海外から輸入し、精製リン酸や各種リン酸塩類などを生産されています。しかし、世界的にリン鉱石の希少化が進んでいるようで、産出国による資源の困り込みが進行しています。そこで、下関三井化学では国内で使用したリンを回収して、リン鉱石を代替する方法を研究されており、講義では、下水を処理した際に生じる下水道焼却灰からリン鉱石に近い成分の物質を作り出す方法を紹介されました。さらに、バスに乗って工場内をめぐり、様々なタンクや配管などで構成される化学プラントを見ることができました。

唐戸地区や彦島において、文理探究科の1年次生は、様々な事物や現象を観察することができました。興味をもったものから疑問を見つけ、5月30日(金)の海峡ディスカバリー発表会で披露してください。



下関三井化学でリン工業の概要とリン資源のリサイクルについて学ぶ

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。